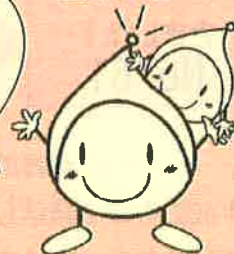


ささえ

協働するには
市民活動団体の
活動内容をよく
理解してね。



エー1くんとミニこぼちゃん

奇数月発行

あけましておめでとうございませう



本年も よろしくおねがいします。

新しい年を迎え、今まで活動してきたボランティア活動、市民活動の目的、背景、個々の活動の評価をふりかえり、原点にかえって、みんなで共有しよう！そうすると、「想い」が新たにスタートします。「みんなのために」を忘れずに更なる活動の輪を広げよう！



市民活動カフェ2013

入場無料

2013年2月3日(日) 岩国市民会館 10:00~15:00

いわくに市民活動支援センターの登録団体の中から37 団体が日頃の活動の紹介をおこないます。体験コーナー、バザー、スタンプラリー抽選会、ステージ発表など盛りだくさんです。

ご家族、お友だちとお誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。

市民活動団体

活動展示・体験コーナー
バザー・ステージ発表など

市民力をつなぐ

スタンプラリー

10:00~14:30

抽選会

①11:30~12:00
②14:15~14:40

おもちゃ交換ひろば

使わなくなったおもちゃを
持ってきてね。好きなおもちゃと
交換できます。

ゲームソフト、ぬいぐるみなどは
受け付けません。おもちゃは交換できません。

絵本の読み聞かせ

収集ボランティア コーナー

エコキャップ、
古切手、書き損じ
ハガキを持っ
てきてね。

団体による 協働事例発表

10:30~11:15

ストリートダンス ワークジョブ

14:00~14:55

二階物語 朗読

12:40~13:10

キッスダンス

13:30~13:50

今、なぜ傾聴なのか？ いわくに傾聴ボランティアの会

「いわくに傾聴ボランティアの会」は、社会福祉協議会の傾聴ボランティア養成講座を受講した人を中心に、平成20年に発足し、現在39名の会員で活動しています。会員は6グループに分かれて地域の高齢者施設で傾聴活動を行っています。また、会員のスキルアップのため年1回、研修会を行っています。

平成24年11月28日、岩国市民会館で「心をつなぐコミュニケーション“初心にかえろう！”」という講座が開かれました。講師に「ぱれっと」所長の堀江秀紀さんをお招きし、「傾聴」の基本を学びました。



いわくに傾聴ボランティアの会員

今、なぜ「傾聴」なのか？「情報や刺激が数多くある現代社会の中、たくさんの人とおしゃべりしている時に、たったの5分でも自分の話をきちんと聴いてもらったことがあるだろうか？」という講師の投げかけをもとに、ペアでロールプレイのトレーニングをしました。聴き手・話し手のそれぞれの役割を演じる時に、聴き手が「うなづかない」「視線を合わさない」と話し手はどんな気持ちがするか、また、「口をはさまずひたすら聴く」、「沈黙にも寄り添う」ことの難しさも体感しました。

「傾聴」にはいろいろな手法があります。○興味を持って聴く、○「はいはい」「ふへん」「へえ～」「なるほど」とうなづきながら聴く（メラビアンの法則）、○よそ見をすると話し手が「自分に興味がないな」と思うのでよそ見をしない。○相手の方にできるだけ多く話をしてもらおう。○同じ話の繰り返してもその中から面白いことを引き出し、話題を変えながら聴く。○座る位置も寄り添うように座る。このような手法を用いて、話しやすくする工夫をしています。また、話すことによって自分の心の整理ができ、言いたいことが明確になります。そして、話し手が今の状態に「気づく」ことができ、解決できるようになるということでした。

「傾聴」は違う体験を共に感じ合おうとする「シェアリング」する（気持ちを分かち合う）ことが大事で、説得したり、解答したり、結論を押し付けずに、相手に寄り添って聴くということです。そして、「傾聴」とは「他人の目や評価を気にしないで、自分自身と安心して向き合える『空っぽの時間』を確保すること」だそうです。



「目を見て聴く」ロールプレイの様子



高齢者施設での傾聴ボランティア

12月7日、実際に傾聴ボランティアをされている高齢者施設を訪問しました。2組のボランティアさんが入所者のお話を聴いておられました。

高齢の女性が「家に帰りたい！」「死ぬまでにたった一度でいいから家に帰りたい！」「子どもが知らないうちに施設に入れた！」など涙ながらにお話しされていましたが、ボランティアさんは説得せずに、ただ頷きながら聴いておられました。話題は病気の話、家族の話、お金の話、仕事の話、伴侶の話などで1時間経ったころ、女性は安心した様子で部屋に帰って行かれました。

このように「聴く」ことのできる社会貢献をあなたもしてみませんか？（柳原）



● お問い合わせ ●
いわくに傾聴ボランティアの会
安西 詩代さん
電話 23-8015



市民活動団体のイベント情報

センターまでお気軽にお問い合わせ、お申し込みください。連絡先は裏面で

障害者が地域で生きていくために

～映画とシンポジウムで考えてみよう～

「岩国市みんなの夢をはぐくむ交付金対象事業」

障害を持った子どもたちが親亡き後も地域で普通に暮らしていける術を考えてみよう！

- と き 平成25年2月10日(日) 10:00～11:40 映画『海洋天堂』上映
平成25年2月10日(日) 12:30～14:00 シンポジウム

「地域社会での成人後の支援体制と現実」

- 平成25年2月10日(日) 14:00～15:45 映画『風のかたち』上映

- 場 所 シンフォニア岩国 2階 多目的ホール

- 参加費 各700円(合計2100円)

- 問合せ NPOエルマーの会&ちーむ親の会

新規登録団体紹介

「にこにこの会」

～ダウン症の子どもを持つ親の会～

ダウン症で生まれた子どもを持つ仲間が月に一度集まって「おしゃべり会」をしています。悩みや不安、つらい気持ち、そして成長の喜びを仲間と話し、分かち合える場所を作りたいと思っています。

同じ仲間と集まっておしゃべりしませんか？

- 問合せ にこにこの会
- 代表 西本 奈緒美
- 電話 090-5702-5700

新規登録団体紹介

「きずなサークル」

～ベビーマッサージと離乳食講座～

きずなサークルではベビーマッサージと離乳食講座、ママランチと離乳食の試食があります。ランチやベビーマッサージをしたり、楽しい時間の中でママ同士やママとベビーのきずな作りのお手伝いができればと思います。

子育て中のお母さん！育児生活で困ったことはありませんか？

- 問合せ きずなサークル
- 代表 松永 敦子
- 電話 090-8282-9229

講座報告

第4回 みんなでいきいき！協働のまちづくり

〈活動の場をみてきました！〉



12月15日(土)、講師、中山淑子さんのご指導の下、15人の参加者が立案した協働事業を持ち寄り、実際に「市民プロデューサー」として活動している場所を視察に行きました。まず、「装束ボランティアの会(れんげの家)」のを視察に行き、「認知症予防教室」に参加しました。ここでは、1週間の学習内容が決まっています。パソコン教室や大正琴、抒情歌やカラオケ教室などがあります。生徒が次の日の先生になったり、担当を決めてみんなで教え合っていました。男性を誘い出すために、手作りのマージャン台を作り、麻雀教室を始めました。

また、1ヶ月1回、カレーの日を設定し、平均20人の参加者が情報交換をしています。知らなかった地域の人とも友達になり、「まるで、民間の公民館のようだ！」と感想が出ていました。今後は子どもたちを巻き込んだ活動を企画し、「市民プロデューサー」として装束地区を活性化していけることでしょうか。

次に「いわくにまちあるきマップ」を作成している「ふろむりんく岩国」を視察するため、中通り商店街に行きました。子育て中や転入者の女性を対象にした飲食店や雑貨店の紹介をするため、一軒一軒、取材をしてデータを集め、手作り感あふれるデザインのマップを企画中とのことでした。

その後、「年間観光客3千万構想」の実現をめざして、岩国地区の商店街の活性化を目標にした城下町らしい「雛飾り」をしようと「岩国桜の会」を視察。錦帯橋周辺を「お雛様」で飾り、観光客の増加と街なか回遊による商店街の活性化を図るということで、錦帯橋周辺を歩きました。古い街並みに「お雛様」を飾り、観光客を呼び込む企画はすばらしく、「お雛様」も募集したところ、たくさんのお雛様が集まったということです。

最後に「御庄地区花いっぱい運動グループ」を視察するため、新岩国駅周辺に行きました。駅周辺の環境を地元の人と整備し、花を植栽されていました。今後は「花の苗」「花の種」を物々交換し、駅周辺を花いっぱいにするということでした。地域の人や企業、行政とうまく連携されていました。



助成金ニュース

①内容、対象②助成金額、件数③締切④問合せ先
*詳しくは、センター又は各問合せ先までお願いします。

地球環境基金助成金

①日本国内外の民間団体（NGO・NPO）が行う地球温暖化の防止、生物多様性の保全、循環型社会の形成等に資する活動② ●一般助成：100万円～概ね400万円●入門（発展）助成：50万円～概ね400万円③ 1月25日（金）④ 独立行政法人環境再生保全機構 TEL044-520-9505、FAX 044-520-2190

アステラス製薬 患者会活動資金助成

① 患者・患者家族の会、患者会の連合組織 等が対象、1. 会の自立や役員・リーダー・相談員の養成が期待できる活動 2. 大災害に対する会の取り組みへの助成 ②総額850万円、助成金額は1案件上限50万円（10万円単位で希望額を申請）、申請は1団体1案件③ 1月31日（木）④ アステラス製薬株式会社 総務部 スターライトパートナー担当 TEL 03-3244-5110、FAX 03-5201-6611

明治安田クオリティオブライフ文化財団 平成25年度地域の伝統文化分野保存維持費用助成

① 古来各地に伝わる「民俗芸能」ならびに「民俗技術」の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体 ② 「民俗芸能」は1件につき70万円、「民俗技術」は1件につき40万円を限度とする③ 1月31日（木）④ 公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団
TEL03-3349-6194、FAX03-3345-6388



岩国のへえ～ 51の巻



編集後記

日本の百科事典編纂のパイオニア 齋藤 精輔

齋藤 精輔は、1868年（慶応4年）岩国市に生まれました。12歳で山口県で初めて作られた旧制中学校に一期生として入学し、その後上京して東京農学校に通いました。苦学生で、毛利公爵家の家庭教師をしながら勉強をしていましたが、優れた英語使いを探していた、三省堂の創業者、亀井忠一に見初められ、辞書の編纂を頼まれました。東京農学校を退学して編纂した辞書が、有名な「ウェブスター氏新刊大辞典 和訳字彙」です。

そのうち、日本で近代的な百科事典を編纂、刊行する必要性を強く考えるようになり、「日本大百科事典」を企画し、1908年（明治41年）に1巻を刊行しました。途中で三省堂が倒産するアクシデントもありましたが、大隈重信らの助けもあり、1919年（大正9年）に全10巻刊行の偉業を成し遂げました。

数々の辞書、事典に携わり、1937年（昭和12年）に亡くなるまで、「日曜祭日の休日を廃し、連日連夜校正の事に当たる」ほどの徹底ぶりでの日本の近代的辞書の礎を築きました。

あけましておめでとうございます。

いよいよ市民活動カフェの開催が近づいてまいりました。今年のテーマは「市民力をつなぐ」です。カフェではいろいろな市民活動団体の紹介や体験講座、バザー等を行ないます。自分のやりたいことや、なにか始めたいのだけれど、一人では…とされている方、なにか活動のヒントが見つかるかも…そして、そういう、ひとりの思いや小さな力がつながり大きな力になっていく、そんなお手伝いできればと思います

今年もどうぞよろしくお願ひします。（見越）

支援センター利用状況(11、12月)

- ・印刷、コピー 159件
- ・相談 18件
- ・登録団体数 89団体(のべ数)

発行：いわくに市民活動支援センター

〒741-0062 岩国市岩国 4-4-15
(岩国市中央公民館3階)
TEL 0827-44-0288 FAX 0827-44-0324
E-mail: shien@sky.icn-tv.ne.jp
http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~shien/